

ユニロンカップ・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社
兵庫県丹波市山南町谷川1385
TEL : 0795-77-2151



作成日：2007年10月12日

変更日：2016年10月12日

整理番号：MSDS-N032

危険有害性の要約

- 危険性： 危険性は極めて低い。
- 有害性： 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
- 環境影響： 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS 分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHS ラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

応急措置、保管、廃棄については下記を参照。

研磨不織布成分 (構成1)

物質の特定	単一製品・混合物の区別 : 繊維、バインダー、砥粒の混合物	
	成 分	重量割合 (%)
	ポリアミド (繊維)	13 ~ 17%
	SBR樹脂、NBR樹脂、メチル化メラミン系樹脂、フェノール樹脂、エポキシ樹脂 (バインダー)	36 ~ 41%
	酸化アルミニウム Al_2O_3 (砥粒)	46 ~ 48%

危険性情報	引火点・発火点	なし。
	可燃性	なし。
	発火性	なし。
	酸化性	なし。
	自己反応性・爆発性	なし。
	粉塵爆発性	なし。
	安定性・反応性	大気中で安定。
	その他	なし。

軸（構成2）

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 単一製品（炭素鋼S25C）	
	成分	含有量（%）
	C（炭素）	0.13～0.18%
危険性情報	発火点	なし。
	加熱性	なし。
	発火性	なし。
	酸化性	なし。
	自己反応性・爆発性	なし。
	粉塵爆発性	なし。
	安定性・反応性	なし。

接 着 剤（構成3）

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 混合物	
	化学名	エポキシ樹脂系二液型接着剤
	成分	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
	化審法番号	7-1283他
	CAS番号	25068-38-6他
危険有害性の分類	分類の名称	その他の有害物質
	危険性	可燃性液体（危険物第四類第四石油類）
	有害性	吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがある。
危険性情報	引火点	206℃
	安定性	通常の条件では、安定
	反応性	硬化剤とはかなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずることがある。

主な適用法規	消防法	危険物第四類第四石油類
	海洋汚染防止法	B類物質
	労働安全衛生法	変異原性物質
	P R T R 法	第 1 種指定化学物質 (No.30 ヒ ^レ スフェノール A 型エポ ^ホ キシ樹脂:97%)

4. ユニロンカップ (完成品)

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : なし 有害性 : 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。
応急処置	眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。 皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。 吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合 毒性はありませんので、少量の場合は自然排泄にまかせて下さい。 大量に飲み込んだ場合は、医師の診断を受けて下さい。 応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。
火災時の処置	消火方法 エクスチン粉末 (A B C) 消火器又は、放水にて消火して下さい。 消火剤 水・粉末消火器・泡沫消火剤 等 火災時の処置に関する特記事項 適用しない。
物理／化学的性質	外観等 : 不織布研磨材 沸点／範囲 : 適用しない 融点／範囲 : 適用しない 蒸気圧 : 適用しない 水溶性 : 適用しない 比重 : 適用しない 蒸気密度 : 適用しない 蒸気濃度 : 適用しない p H : 適用しない 粘度 : 適用しない

<p>暴露防止措置</p>	<p>許容濃度</p> <p>酸化アルミニウム (1344-28-1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA:吸入性粉塵 0.5 mg/m³ 総粉塵 2 mg/m³ ACGIH TLV : 10 mg/m³ TWA AIとして 1986</p> <p>硬化済み接着剤 (CURED AD1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>ナイロン繊維又は織物 (NYLON F02) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>設備対策 硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。</p> <p>保護具</p> <p>呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。 半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>
<p>取扱い／保管上の注意</p>	<p>取扱い : 特になし</p> <p>保管 : 変色の恐れがある為直射日光を避け換気のよい場所で保管下さい。 遊離ホルマリン、遊離フェノール等が残留している恐れがあるため、換気の良い部屋にて保管下さい。 長時間換気の悪い部屋での保管は、他の品物へのホルマリン汚染、フェノール汚染を招く恐れがあります。 水漏れにご注意下さい。</p>
<p>安定性及び反応性</p>	<p>本製品は化学薬品ではない為、該当なし。</p>
<p>適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 粉塵障害防止規則 P R T R法 : 非該当</p>
<p>廃棄上の注意</p>	<p>1) 内部にて焼却処理をする場合 焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却して下さい。</p> <p>2) 外部業者に委託する場合 産業廃棄物処理業者に委託し処理して下さい。</p>

その他	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>
-----	---

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○
	酸化アルミニウム

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発熱性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない


健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	区分できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(吸入:肺)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	<p>呼吸器への刺激のおそれ</p> <p>長期又は反復ばく露吸入による肺の障害</p>

